

間もなく八冊目が 出来そうです！

『郷土文化誌郡上Ⅱ』は今月（12月）第八冊発行をめざして、現在仕上げの編集作業中です。この『郡上Ⅱ』は、その前身『郷土文化誌郡上』の系譜を継ぐものとして、郡上の文化資源や文化活動を発掘、紹介し、交流をコーディネートしたいと願い、平成29（2017）年に創刊しました。

『郡上』は、平成11（1999）年に終刊となるまで十冊を重ね、「文藝春秋よりも分厚い総合雑誌」と当時の谷澤幸男編集長が述べていた程に幅も奥行きもあり、中身の濃いものでした。そもそも郡上の歴史文化そのものが日本の



『郷土文化誌郡上』と『郡上Ⅱ』

中で先駆的であったり、金字塔をなすもので、執筆者も郡内の研究者や文芸者のみならず国県レベルから参加がありました。この『郡上』発刊によって、白山文化や古今伝授、また郡上一揆などの意義が再認識され、文化的な事象が周知・啓発されることも少なからずありました。その頃はまだ郡上郡の時代で町村の自意識が高い中で、敢えて『郡上』というタイトルを付け、意識的に郡上の版図で活動しました。一方、永六輔、入船亭扇橋、柳家小三治等の御常連で郡上八幡大寄席を32回も連続開催したことは驚異的なことでした。

『郡上Ⅱ』はこうした先人の取り組みを継承したいと始まりました。幸い編集部の仲間や協賛者も多く、これまで毎年一冊ずつ七冊までできました。構成は、①ふるさと特集、②文化活動と新たなうねり、③文芸、④時事・連載というスタイルで、特に近藤正臣さんによる郡上探訪座談会や郡上出身者の便り、また「郡上に吹く新しい風」というコーナーで若い方々（移住者含む）の精力的な活動報告とオピニオンを大事にして



今年も新たな1冊が加わります

きました。毎号その年の記念的事柄でテーマを定め、「白山三百年」、「明治百五十年」、「令和改元」、「コロナ禍」、「東氏八百年・古今伝授五百五十年」、「郡上合併二十年」などの特集にも取り組んできました。

構成をどうするか、誰に何を書いてもらうか、特集は何かなど編集会議は難しいのですが、楽しい時間でもあります。郡上を知り、発信し、文化の交流と創造を引き起こしたい！ワクワク感を大事に続けていきたいと願っています。

問

報告 編集長 田中義久
本誌代表・事務局
古池五十鈴 65・2048

～輝く未来に向かって～ 郡上未来通信 （郡上市雇用対策協議会）

◇仕事探しのヒントが見つかる jobtag【職業情報提供サイト】を活用しませんか！

ハローワーク岐阜八幡では、自分に合う職業を探すツールとして職業情報提供サイト『jobtag』を活用した相談を実施しています。

「職業興味検査」「価値観検査」から、自分が楽しいと思えることや、やりがいがあると思えること、能力面の特徴などがわかります。各診断テストの結果から導き出される職業の一覧から向いている職業を検討することもできます。

就職活動の完全な答えが得られる訳ではなく「ヒント」が得られるものです。

職業情報
提供サイト

jobtag



何をやりたいか、自分に何ができるかわからないという人！
一緒に自己分析を行い、今後のお仕事探しに役立ててみませんか？



問 ハローワーク岐阜八幡 65-3108